

## 令和6年1月27日(土)イオン八事ショッピングセンターでのEプロ活動「名城大学薬学生とご家族と一緒に学ぼう!くすり実験教室」(共催:特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO))

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすりの適正使用」や「薬物乱用の防止」に関する授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。2022年10月から定期的にイオン八事ショッピングセンター(4階 G.G イベントコーナー)にて、「名城大学薬学生と一緒に学ぼう!くすり実験教室」を開催しています。今回もご家族を対象として休日の1月27日(土)に開催しました。

イオン薬局八事店薬局長の山本真一郎先生、NPO J-DOの理事長の鍋島俊隆先生や並河真紀子さんのご協力の下、同会場(4階 G.G イベントコーナー)にて「名城大学薬学生とご家族と一緒に学ぼう!くすり実験教室」を下記内容で開催しました。当日は子供連れのご家族ご夫婦が来場され、延べ22名が参加されました。体験実験では多く参加者が、目の前で起こる変化に興味を持ち、熱心に説明を聞いていました。参加者からは、「カプセルを触るのが楽しかった」、「勉強になった」、「薬学部を目指していて、モチベーションがあがった」などの感想をいただきました。今後取り上げてもらいたいテーマとして、「くすりを嫌がる子供への薬の飲ませ方」「アレルギーについて教えてほしい」が挙げられており、今後の活動に活かしていきたいと思えます。日常の薬に関する疑問や服用薬については、教員が丁寧に対応していました。Eプロの活動としては7回目となりましたが、これまでの活動を通して、地域住民の薬に対する疑問や不安を知る機会となりました。また、様々な年代の来場者に対して、疑問や不安への受け答え、理解しやすい言葉や表現の使用の意識など、大学では学べない知識・態度・コミュニケーション能力を学ぶことができました。

### イオン八事ショッピングセンターにおける「くすり実験教室」

日時:令和6年1月27日(土)11時00分-14時00分

場所:イオン八事ショッピングセンター(4階 G.G イベントコーナー)

内容:

#### ・「体験実験」

コーナーを4テーブル設置し、5つの実験を体験できるブースを用意しました。Eプロの薬学生(5年生4名、4年生5名)は、実験目的の説明などを行いました。来場者からの質問にも丁寧に対応するように努め、非常に貴重な学びとなりました。イオン薬局八事店薬局長の山本真一郎先生、鍋島俊隆先生(NPO J-DO 理事長)名城大学薬学部 野田幸裕教授(NPO J-DO 副理事長)、間宮隆吉准教授(NPO J-DO 理事)には、集客や実験が円滑に進められるように助言をいただきました。

#### <実験項目>

①薬の溶ける工夫(飲みやすさ)

②薬と飲食物との関係(相互作用)

実験1:コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ?

実験2:水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる?

実験3:シロップの「くすり」と「お茶」を一緒に飲むとどうになってしまうの?

実験4:「うがいぐすり」でうがいをした後に、

すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの?

実験5:オレンジジュースで胃痛を和らげる「くすり」を飲むと

どうになってしまうの?



制作: Eプロ(名城大学薬学部病態解析学I: 加藤拓真、野田幸裕)  
薬品作用学(間宮隆吉)  
監修: NPO J-DO

